

【教員名】 金子 憲

【研究分野】 財政学、地方財政、公共経済学



財政は、国・地方公共団体が政策目的実現のために行う経済活動であり、たとえば毎年の予算編成過程は政治的プロセスを通じた国の重要な政策決定の場でもあります。また、国の財政のあり方は国民生活、ひいては国政の方向を規定するので、財政の適正運営を図るべく財政民主主義の観点から法律面の制度化がなされています。したがって、学問としての財政学は、政治学・法学（憲法・財政法）・経済学（ミクロ経済学・マクロ経済学）など複数の専門分野と密接に関わっています。

以上のことを、現在の我が国が直面している様々な政策課題に焦点をあてながら、国や地方公共団体などの公共部門が行う政策を、財政構造と関連させながら政策的観点から分析を行います。

【研究等】 <https://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ka/398.html>

【連絡先】 akaneko (at) tmu.ac.jp

【ゼミ生の卒論テーマ】

1. 『社会保障と住宅政策の関連性に関する研究』
2. 『中国の公営住宅に関する研究 ～土地財政の視点から～ 』
3. 『横浜市営交通事業の経営分析に関する研究 ～市営地下鉄・市営バスの財務分析より～ 』
4. 『日本の中古住宅市場における「情報の非対称性」に関する研究 ～不動産データ公開検討の変遷と課題に関する日米制度比較～ 』
5. 『福島から見る日本の原発政策と地方経済』
6. 『地方財政調整のあり方について ～地方法人特別税と地方法人特別譲与税～ 』
7. 『地方分権から生まれる地方自治体間競争を愛知県豊田市が生き残るためには～「足による投票」モデルを参考に～ 』
8. 『財政投融资と地方債改革』
9. 『離島振興について』
10. 『ふるさと納税に付随する問題と解決手法の考察』
11. 『人口減少社会に即した高齢者向けの施設や住まいのあり方 ～「増田レポート」と批判的意見の整理を足がかりに～ 』
12. 『ニュータウン開発と地域活性化 ～千葉ニュータウンを事例として～ 』
13. 『北総鉄道高運賃問題の解決策の提言 ～千葉ニュータウンとの関係から～ 』
14. 『年金制度改革実現の要因分析と今後の制度設計に関する政策提言』
15. 『公営地下鉄の民営化の可能性の検討 ～大阪市営地下鉄の経営分析より～ 』
16. 『低周波音に関する法政策的対応の検討』

など

【ゼミ生の進路】

1. 国家公務員（財務省）
2. 地方公務員（都庁、神奈川県庁、長崎県庁、大分県庁、横浜市役所、船橋市役所）
3. 民間企業（NTT データ、三菱地所コミュニティ）

など

【ゼミの形式など】

1. 東京大学、慶應義塾大学などと研究交流を行なっている。